

# 普及啓発 分煙に関する普及啓発

新聞広告

分煙を、考えること。  
そこで終らないこと。

私たちが、今、考えていること、行っていること、これから、さらに、考えなければいけないこと、行うべきこと、つまり、たばこの「今」と「未来」に関して、お話しします。少し長くなりますが、できれば最後までお読みください。

### マナー広告にできることがあります。 できないことがあります。

私たちの社会には、  
たばこを吸う人と吸わない人がいます。  
たばこを吸っていない場所と、  
吸っていない場所があります。  
そして、どちらでもない場所があります。  
はっきりと決められていない場所があります。  
そこは、場所や時間、あるいは  
そこにいる人によって、吸っていない場所にも、  
吸っていない場所にもなります。

たばこを吸ってはいけない場所では、  
当然ですが、禁煙がルールです。  
たばこを吸っていい場所では、  
求められるのが、マナーです。

今、私たちがマナー広告を  
継続的に発信しているのは、  
ルールを守らない  
喫煙者が多いからではありません。  
ルールはもともと、マナーにも関連している  
喫煙者は、勝手に変えています。\*\*  
一部のルール違反者、あるいは  
マナーの気配りが足りない喫煙者に、  
今の自分の行動に気づいてほしい  
と考えているからです。

もちろん、マナーだけで  
すべてが解決できるわけではありません。  
しかし、私たちが、  
一律的な全面禁煙には、反対します。

### いろいろな分煙がある。 ということも、まず知ってください。

今、私たちは、  
たばこを吸う人にとっても吸わない人にとっても、  
より快適な「分煙」環境の実現を  
願っています。

分煙には様々な方法があります。  
ひとつの場所において、  
エリアを分ける「空間分煙」もあれば、  
喫煙できる時間や人数を分ける「時間分煙」もあれば、  
そして、まったくたばこが吸えない施設もあれば、  
ここにおきなくたばこを吸しめる施設もあります。

分煙のカタチをひとつに決めようというのではなく、  
吸う人にとっても吸わない人にとっても  
様々な選択が働いている。  
それらを自由に選べる環境が、  
よりよい「分煙社会」であると、  
私たちは考えます。

### 多くのことを絡めています。 多くのやるべきことがあるから。

そのため、場所ごとの状況、  
案件に応じて、最も適切な  
分煙のカタチを煮詰めていく。

それは、単に民権を侵害したり、  
公共の場に喫煙場所を設ける  
活動だけではありません。  
私たちは、分煙を望む施設の方々に呼び、  
たばこを吸う人、吸わない人にとって、  
今いちばんベストなカタチを考え、実現し、  
長くお付き合いしています。

カフェ、ホテル、レストランなどは、  
たばこを吸う人も吸わない人も、  
より快適な環境を過ごせるような、  
分煙のカタチの提供や  
喫煙の紹介を行っています。  
また、オフィスや  
ショッピングセンターなどでは、  
たばこの煙の吸い殻をシミュレーションし、  
煙草においをおさめる「分煙コンサルティング」  
ノウハウを提供する「分煙コンサルティング」  
を行っています。\*\*

### 人を分けるのではなく、 煙を分ける、という未来へ。

しかし、それでも、  
たばこを吸わない人にとって、  
たばこは迷惑になることがあります。  
煙だけでなく、においも、  
とても強くなります。

また、たばこを吸う人にとっても、  
多くの健康被害が、決して後遺で、  
充分なものだと訴えられます。

私たちが、今の分煙環境の多くが  
不完全であると認識しています。

営業時には、たばこの煙、においも、  
より完全にコントロールする。  
言い換えてデザインする。\*\*\*  
その環境も、幅広い喫煙者と喫煙で、  
研究開発に着手しています。

その際、空間においては、  
たばこを吸う人も、吸わない人も、  
たばこの存在を気にならなくない、  
煙草においをおさめにくくはない、  
そういう働き、役割を  
果たしたいと考えています。

たばこを吸う人と、吸わない人に分ける。  
その方が、簡単かもしれません。  
しかし、私たちの考える喫煙者の方々の姿は、  
「人を分けるのではなく、煙を分ける。」  
誰かが意識するのではなくちろん、  
誰もが意識するのでもなく、  
たばこを吸う人、吸わない人が、  
自然と分けられる、  
同じ社会の中で、  
同じ社会の中で、

そういう未来が実現できることを、  
私たちが、真剣に、考えています。



吸う人  
のために。  
吸わない人  
のために。

※1 2019年10月1日現在、喫煙者には、吸わない人（約8割）が、喫煙の喫煙者（約20人）をマナーに配慮してはいるが、喫煙者（約1割）は、喫煙者（約20人）の喫煙者（約1割）をマナーに配慮してはいる。【データ出典】※2 公共の場や喫煙場所、タバコを吸う人に、喫煙者（約20人）をマナーに配慮してはいる。【データ出典】※3 喫煙者（約20人）をマナーに配慮してはいる。【データ出典】※4 喫煙者（約20人）をマナーに配慮してはいる。【データ出典】※5 喫煙者（約20人）をマナーに配慮してはいる。【データ出典】※6 喫煙者（約20人）をマナーに配慮してはいる。【データ出典】